



冬のボーナスカットを許さないぞ！シリーズ⑧

JR西労組1.5ヶ月で妥結！ なぜこれを評価するのか？

JR西日本は、年間臨給の破棄を各組合に提案し、会社が一方的に年末手当1.5ヶ月の提示を強行しました。JR西労組は10月2日、妥結しました。妥結にたあたり、この超低額をJR西労組もJR連合も評価しているのです。

JR西労組
JR連合

会社存続と組合員の雇用・生活を守ることや、組合員の生活設計・将来不安の解消に資する水準を確保できた

と、**成果のように評価**。ところで、人員削減提案など雇用不安の要素はあるのでしょうか？

経営事情でボーナスを低額妥結せざるを得ないことは十分理解できます。しかし、JR東海労が問題にしていることは、**組合員の意に反し評価した点**です。「不満を表明し妥結」と「…水準を確保できた」とでは大違いです。

JR総連傘下のJR西労は、「執行役員（7.5%）と社員の減額率（昨年ベースの年収換算で7.38%）がほぼ同じであることは納得できない」として、年末手当の見直しを求めています。

JR東海労はコロナ禍を理由に労働者へ
我慢と犠牲を強いる会社を許しません！